

# 患者心理 からみる 緑内障 治療継続



日時 2023年9月9日(土)  
15:00~15:30

会場 第1+第2会場  
(虎ノ門ヒルズフォーラム メインホール)

日本は高齢化が進み、今や人生100年時代と言われるようになっており、これまで以上に長期にわたる治療管理、一生涯に渡る視機能維持が重要になってきます。

治療を中断する理由の一つに、点眼薬の副作用の発現があります。副作用により点眼薬に不満があっても医師に相談できない可能性もあります。

患者さんの生活の中に点眼治療を組み込み、治療を継続し、確実な治療効果を得るためには、様々な患者背景、症状や進行などを考慮し、患者さんの訴えに耳を傾けて、一緒に適切な治療を考えていくことが必要になってくると思います。

本セミナーは、有害事象の心理面への影響や患者さんから本音を聞き出すコツについて、精神科の小高先生にお話しいただく、貴重な機会ですので、一人でも多くの先生方のご来場をお待ちしています。



座長

中野 匡 先生  
(東京慈恵会医科大学)



演者

小高 文聰 先生  
(東京慈恵会医科大学)

# 患者心理 からみる 緑内障 治療継続



第34回日本緑内障学会  
ティータイムセミナー3

日時 2023年9月9日(土)  
15:00~15:30

会場 第1+第2会場  
(虎ノ門ヒルズフォーラム メインホール)

## 座長

### 中野 匡 先生 (東京慈恵会医科大学)



1987年 東京慈恵会医科大学 医学部 卒業  
1989年 東京慈恵会医科大学 医学部 助手  
1993年 東京労災病院 眼科 医員  
1995年 神奈川県立厚木病院 眼科 主任医長  
2005年 東京慈恵会医科大学 眼科学講座 講師  
2013年 東京慈恵会医科大学 眼科学講座 准教授  
2017年 東京慈恵会医科大学 眼科学講座 主任教授  
2019年 東京慈恵会医科大学附属病院 副院長兼任  
現在に至る

## 演者

### 小高 文聡 先生 (東京慈恵会医科大学)



2000年 東京慈恵会医科大学 医学部 卒業  
2004年 町田市民病院 神経科 医員  
2005年 東京慈恵会医科大学 精神医学講座 助教  
2007年 公益財団法人復光会 総武病院 診療部 精神科 医員  
2011年 独立行政法人 放射線医学総合研究所分子イメージングセンター  
分子神経イメージング研究プログラム 脳病態チーム 博士研究員  
2013年 公益財団法人復光会 総武病院 診療部 精神科 診療医長  
2017年 東京慈恵会医科大学 精神医学講座 講師  
2021年 東京慈恵会医科大学附属病院 精神神経科診療医長  
現在に至る

### 第34回日本緑内障学会 参加登録ページ

第34回日本緑内障学会への参加には、参加登録が必要です。  
7月31日(月)まで、早期割引を実施しております。

